

平成 24 年 3 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 翻 訳 セ ン タ ー
代 表 者 名 代表取締役社長 東 郁 男
(コード : 2483 JASDAQ スタンダード)
問 合 せ 先 取締役経理部長
(兼) 総務部長 中本 宏
(TEL. 06-6231-8544)

「ローカライゼーション推進部」新設ならびに第三者割当 による新株式発行に関する資金使途変更のお知らせ

当社は、平成 24 年 3 月 23 日開催の取締役会において、「ローカライゼーション推進部」を新設することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 22 年 5 月 14 日付「第三者割当による新株式発行、主要株主の異動及び「その他の関係会社」の異動に関するお知らせ」にて開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」

(以下、「資金使途」という。)について、下記のとおり変更することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 「ローカライゼーション推進部」新設の目的

ローカライゼーション／マニュアル翻訳は、日本国内翻訳市場の約 3 割 (約 600 億円) を占める市場でありながら、従来当社が十分に開拓できていなかった市場であります。当社は、この市場に進出するために、平成 22 年 10 月よりプロジェクトチームを設置して専門人員や設備の確保を進め、ノウハウの蓄積に努めてまいりました。その結果、ローカライゼーション事業に本格的に進出するのに十分な人員・設備とノウハウが蓄積できましたので、今後は「ローカライゼーション推進部」として本格的にローカライゼーション／マニュアル翻訳市場に進出いたします。

2. 資金使途の変更理由

ローカライゼーション／マニュアル翻訳市場への進出については、平成 22 年 5 月 14 日付「第三者割当による新株式発行、主要株主の異動及び「その他関係会社」の異動に関するお知らせ」におきまして、資金使途のひとつとして「ローカライゼーション／マニュアル翻訳を専門的に受託する子会社の設立に伴う投融資」として 200 百万円を平成 22 年 10 月から平成 24 年 4 月までに充当する予定でありました。

当初、子会社設立による事業化を予定しておりましたが、その後プロジェクトチームの進捗状

況及び慎重な検討を重ねた結果、より効率的な事業の運営を図るため、本社内に部署を設置する
ほうが当社既存事業との連携による事業拡大ができると判断し、「ローカライゼーション推進部」
を新設することといたしました。

これに伴い、第三者割当増資による調達資金については、平成 22 年 10 月のプロジェクトチー
ム設置以来、必要な人員・設備の確保のための資金として 130 百万円を充当しており、また、平
成 24 年 4 月以降の新設部署の資金としても残額を利用していく予定であります。

なお、当該分野への進出方法の変更に伴い資金使途項目の変更となりますが、当該分野に関す
る高い専門性を有したプロジェクトマネージャー、翻訳者、校正者、DTP オペレータといった人
材の確保、制作体制の確立及び翻訳業務の品質管理に関して有能な品質管理責任者などの人材の
確保、品質管理用チェックツールと用語集の開発・整備などへの資金として充当しており、また、
平成 24 年 4 月以降においても人件費を中心とした資金に充当する予定でありますので、実質的
には平成 22 年 5 月 14 日付「第三者割当による新株式発行、主要株主の異動及び「その他関係会
社」の異動に関するお知らせ」の 4. 資金使途の合理性に関する考え方に記載している充当内容
と変更はございません。

3. 新設する部署の概要

- | | | |
|-------|----|------------------------|
| (1) 名 | 称： | ローカライゼーション推進部 |
| (2) 所 | 在 | 地： 東京都港区東新橋二丁目 4 番 1 号 |
| | | 電話 03-6403-9588 |
| (3) 責 | 任 | 者： 花田 仁（大阪営業部長兼任） |
| (4) 新 | 設 | 日： 平成 24 年 4 月 1 日（予定） |

4. 今後の見通し

「ローカライゼーション推進部」新設による平成 24 年 3 月期の連結業績に与える影響はありま
せん。

以 上